



まちカフェを試してみよう！

11/16(土)

10:30~12:00

つながる場から

まちが動き出す☆彡

人がつながる場「まちカフェ」の事例をヒントに、このまちで人と人が出会い、まちを動かす力になる可能性を試みます！

石崎 立矢 (いしぎきたつや)

- ・「上京朝カフェ」主催
- ・「上京ちず部」部長
- ・京都新聞社 南部支社編集部長

放っておくと通り過ぎ、消えていってしまう
情報をすくい取り、一覧して
みんなが困って使えるようにしたい…

1968年 東大阪・石切 生まれ

神戸の中学・高校、立命館大学(京都・衣笠)を経て

1992年 から京都新聞記者(滋賀本社、高島支局にも勤務)

上京朝カフェ

毎月第4木曜の朝8時~9時半、上京区役所(区民交流会議室)

予約不要・出入り自由・参加無料

※区民交流スペース(会議室、和室)は区民が無料で借りられる(条件あり)



上京朝カフェ

おおよその流れ…

自己紹介シートに記入

持参チラシがあれば机に置く



上京朝カフェ

おおよその流れ…

後半の30~40分は自由な交流時間



この時間に生まれているものが多い

上京朝カフェ

毎回、参加者は20~30人
2割程度は初参加の人

…この傾向がずっと続いている
不思議!



地域・まちへの関わりは、人それぞれで複合的

まち歩き

商店街

歴史

カフェ 妄想

思い出

伝統産業

買い物

福祉

子供の居場所・遊び場

景観

友達

未来の夢

防災

環境

情報は通り過ぎ、消えていく...

こんな地域社会だったら、いいな…

(石崎の私見)

地域で暮らしている人、活動しているごく普通の人々が、
互いの得意なこと、困っていることをさりげなく分かっている、
なにか課題解決や楽しい取り組みに動き出そうとした時に、
できる範囲でできる限りのサポートをし合える関係性を築いて
いるまち。

そのために、地域にどんな人がいるか、どんな資源・課題が
あるかを、地図や情報拠点・サイトで一覧でき、
時には場に集うことによって、
必要な人・資源の情報を必要な時に、リアルタイムで
手に入れられるまち。

「まちの動き」を一覧するには…

(石崎の私見)

リアルに集う場 ★

情報を一覧できる地図

ローカルメディア

上京朝カフェの歴史

2015年5月に区民有志でスタート（区役所ロビー）
住職夫人が主催。「上京朝まっ茶カフェ」として。
月イチ、彼女の都合に合わせて開催（2月から石崎が第4木曜に）



京都市、行政区ごとの「まちづくりカフェ事業」

- ・2011年にスタート
- ・**市民参加推進計画**により2016年、全11行政区に拡大
(市民、住民組織、NPO、企業、事業者、大学、寺社などの多様な主体が自由に参加し、地域の課題やまちづくりについて対話する機会)
- ・実施**主体**、スタイル、頻度など行政区により**さまざま**
- ・上京朝まっ茶カフェは当初、この事業に位置付け
2016年度に区主催で多人数のワークショップ「**上京! MOW**」
(年2回)が同事業の位置付けとして始まり、役割分担。

役割分担

まちづくりのインキュベーション(孵化)的な場は、必要

- ・市民活動への行政の支援対象を市民の手で選択
- ・市民・NPO同士の連携、応援のコーディネート ※行政

最初の種まき、出会い、混沌も、きっと大切 ※市民

- ・まちへの入り口(学生、移り住んだ人、地域デビュー…)
- ・やりたいことは、どんな人がいるのか、どんな地域なのか…を知る
- ・「雑談」のほうが知恵やアイデアが生まれる…ブレスト的な場
- ・支援・助成対象の市民活動との落差、疎外感をなくす

灯

月1回、「上

京朝まっ茶カフ
エ」に参加する

ため、出勤前に京都市上
京区役所の和室を訪ねて
いる。行政の主催ではな

い。寺町通沿いにある

法泉院の住職夫人、小

野佳代子さん(51)が

催す交流会だ。

NPOスタッフや商

店主、会社員、アート

作家、学生、主婦、大

学教員…。区役所幹部

や市のまちづくりアド

バイザーも顔を出す。

入れ代わり立ち代わ

り、15人ほどで、何割

かは初参加の人。自己紹

介を兼ねて、それぞれが

関わるイベントの告知を

したり、まちづくりのア

イデア、暮らしの中での

発想を話したりして、意

見や助言を交わす。

抹茶と菓子で、会話も

滑らかになる。新しいア

イデアが生まれ、まちの

知恵者同士がつながる場

に立ち会えるのは、わく

わくする。テーマを決め、

目標達成を目指す堅い

議論も不可欠だが、ま

ちづくりを豊かな発想

で進めるには、「緩い」

話し合いの空間も必要

だ。

小野さんはPTAや

学校図書館ボランティア

活動を通じて、自発

的に動くための気付

きの場がまちづくり

で大切だと学んだ。「皆

で話している間に『動こ

うかな』と思え、背中を

そっと押せる場に」。一

歩を踏み出すきっかけの

場は、そこかしこにあっ

てほしい。

「場」づくり

(石崎 立矢)

上京朝(まっ茶) カフェで生まれたもの

個々の動きすべてを把握はできませんが…

町家保全の建築士 × AIRに取り組むギャラリー代表

= 「路地」活用プロジェクト(子育て環境の住まい、アート制作・発表の場)

「RUN伴」(認知症への理解を深めるリレーイベント)を進める介護施設長

× マラソン好きの店主 × 商店街役員 × 区主催イベント

= RUN伴のコースで数珠つなぎ、相互応援

2階に交流ホールのある信金支店長 × 児童補装具店主

= 障がい児と家族のフリートークカフェを開催

着物関係、まち歩き系で生まれた動きは 多数…

(上京OPENWEEKsのパンフレット参照)

上京朝カフェの工夫と苦心

「進行」に尽きる

※毎回、反省&工夫 (>_<。)

後半の交流の時間をたっぷり取りたい。

むしろ、そのための自己紹介と割り切る

…以前、自己紹介・PRだけで時間を使い切ってしまった。

新しいコト、モノが生まれる余地がなかったのでは？

イベント主催予定以外の人には居心地が悪い？ …という反省

…自己紹介。1分間ずつでバトンタッチしたいが、どうしても話の長い人がいる…

…出入り自由になっている。早く来た人ほど、自己紹介・PRを聞いてもらえない…

…「まちづくりワークショップ疲れ」をしている人、気恥ずかしい人も一定いる

☒ 自分自身が、そう ↑

次回の「進行」予定は…

序盤20分ほどは自己紹介シート記入、雑談、BGM

シートを壁に貼り、その前で1分ずつ自己紹介

交流の時間

皆さんからも知恵をお借りしたいです！

「場」は誰でも、どこでも作れる…

皆さんも、ぜひ！

ニーズ・志を共有する人たち × 場所

場所自体も、より有効に使って！のニーズを持っているのでは

公共施設、お寺、公園、河川敷、カフェ、個人宅

企業の開放空間、コワーキングスペース…

「パブリック・ハック」という考え方も！

派生的にいろいろ生まれるのも、いい

平日の朝だけでなく夜、休日も

テーマ・期間・参加層を限定した場も

SNS (fbグループページ) でのオフのつながり …

「まちの動き」を一覧するには…

リアルに集う場

情報を一覧できる地図 ★

ローカルメディア

地図を囲む (白地図)

地図に載っていない情報が、みんなから出てくる



地図を囲む … (白地図)

2017/12/4 京都新聞 山城版

小倉地域の将来像探る

宇治でワークショップ

活性化へ商店主や市民



地域にあるさまざまなスポットの情報を地図に書き込む住民や商店主ら(宇治市小倉町・西小倉コミュニティセンター)

宇治市小倉町の商店主らでつくる「宇治・小倉商店ネットワーク」が3日、地域活性化の素材や手法を議論するワークショップ「小倉会議」を西小倉コミュニティセンターで開いた。市民ら約40人が参加し、地域にあるお薦めの商店やスポット、街の将来像を話し合った。

初めての催しとして企画した。お薦めスポットの紹介では「イケメン店長のいる弁当店」「亭主は頑固だがおいしいうどん屋」「このケーキ屋のシュークリームが大好き」「西宇治体育館の裏から見る夕日」など多くの情報を参加者が付箋に書き、地図に貼った。昔話や新しい店の話題で幅広い世代の参加者が盛り上がり

った。「小倉にあったらいい店・場所」のテーマで、近鉄小倉駅周辺の街並みや拠点施設の在り方も議論した。ネットワークは、この日の話題に上った地点や情報を一つの地図にまとめ、来年3月に開く街バルイイベント「オクマニア」や、今後のまちづくりに役立つ。

(石崎立矢)

思い出話、おすすめスポット、街の将来像…
年配の住民も、通い出したばかりの学生も平等に

テーマとローカルのつなぎ役になり得る
経験や知識の差を埋め、フラットな場ができる

「まちの動き」を一覧するには…

リアルに集う場 ★

情報を一覧できる地図

ローカルメディア ★

後半のワークで試し、ともに考えましょう

ローカルメディア

ローカルなテーマ

(地域の課題、自己実現の夢、
解決したいモヤモヤ、伝えたい発見…)

×

メディアのかたち

(SNS、ミニコミ・フリーペーパー
ロコミ、回覧板、プレスリリース
仲間との連携、テーマ性のあるカフェ
街の掲示板、ネットラジオ…)